答え 1月18日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



都バスの日にちなんで「バスのクイズ」

【第1問】大正13年に、東京で市営のバスが走り始めたのは、なぜでしょう？

① 震災で電車が止まったから　② オリンピックのため　③ 馬車が禁止されたから

大正12年の関東大震災で、東京の路面電車（市電）は大きな被害を受けました。その代わりの足として、翌年の1月18日にバスが走り始めたのです。

【第2問】このとき走ったバスの愛称は何でしょう？

① ボンネットバス　② 円太郎（えんたろう）バス　③ はとバス

アメリカのフォードのトラックを改造した小さなバスで、明治の乗合馬車「円太郎馬車」にちなんで「円太郎バス」と呼ばれました。残っている車両は、国の重要文化財になっています。

【第3問】降りる停留所が近づいたら、降車ボタンはいつ押すとよいでしょう？

① 乗ったらすぐ　② 「次は○○」の案内が流れたら　③ バスが止まってから

「次は○○です」の案内が流れたら押すのが目安です。押しそびれても、運転手さんに声をかければ大丈夫。あわてて立ち上がらず、バスが止まってから席を立ちましょう。

【第4問】昔の路線バスで、切符を売っていた女性の車掌さんは、何と呼ばれた？

① ウグイス嬢　② モガ　③ バスガール

車掌さんは「バスガール」と呼ばれ、切符を売ったり、停留所を案内したりしました。昭和32年には「東京のバスガール」という歌もヒットしました。

【第5問】車掌さんがいない、運転手さん1人のバスを何というでしょう？

① ワンマンバス　② ツーマンバス　③ マイバス

運転手さんが1人で運転も運賃の受け取りもするので「ワンマンバス」。昭和30年代ごろから広まり、車掌さんの姿は少しずつ見られなくなりました。

【第6問】バス停でバスを待つとき、気をつけたいことは？

① 車道ぎりぎりに立つ　② 縁石の上に立つ　③ 車道から一歩下がって待つ

バスが近づくと、つい前に出たくなります。でも車道のそばはあぶなく、縁石の上はふらつきやすい場所です。バスが止まって、とびらが開いてから近づけば十分間に合います。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます